**株式会社日本総合研究所**

|  |
| --- |
| **2019年度　わが国企業のESG側面の取組み質問票** |

**最初に、下表へのご記入をお願い致します。本調査の内容に関するお問い合わせや、弊社からのご報告の際のご連絡先とさせていただきます。**

▼0\_1

|  |  |
| --- | --- |
| 貴社名 |  |
| 銘柄コード |  |

▲0\_1

▼0\_2

|  |  |
| --- | --- |
| ご担当者名 |  |

▲0\_2

▼0\_3

|  |  |
| --- | --- |
| ご担当部署名 |  |
| 郵便番号 |  |

▲0\_3

▼0\_4

|  |  |
| --- | --- |
| ご連絡先住所 |  |

▲0\_4

▼0\_5

|  |  |
| --- | --- |
| お電話番号 |  |

▲0\_5

▼0\_6

|  |  |
| --- | --- |
| メールアドレス |  |

▲0\_6

|  |
| --- |
| 本質問票は、企業のESG（環境・社会・ガバナンス）に関する取組みが長期的な業績や競争力に密接に関係するとの考え方の下、貴社におけるESGのお取組みを業績や競争力向上に繋げている（あるいは繋げようとされている）背景をお伺いすることを主目的としています。  本調査の構成は、「第1章．はじめに」、「第2章．業績・競争力に貢献するESG取組み」の2つの構成になっています。**上記に述べた通り、本質問票では、全設問にご回答を頂く必要はございません。「第1章 はじめに」含め、ご回答いただける設問のみのご回答、もしくは、貴社のお取組みに関わりのある設問について、ご回答を頂きますようお願い申し上げます。** |

**第１章．はじめに**

〔本調査に関するお問い合わせ先〕

※ ご質問、お問い合わせがございましたら、下記までご遠慮なくお寄せください。

宛先： 〒141－0022 東京都品川区東五反田2-10-2

東五反田スクエア

株式会社 日本総合研究所　ESGリサーチセンター

電話： 03-6833-6565（担当者：黒田・小島）

e-mail： [csr-enq@ml.jri.co.jp](mailto:csr-enq@ml.jri.co.jp)

|  |
| --- |
| 第1章では、現在貴社が実施されているESGに関する情報開示の方法と、ESGの取組みに関する取材の可否について、お伺いさせて頂きます。 |

**1-1. ESGに関する情報開示の方法**

**貴社が、ステークホルダーに対してESGの取組みに関する情報を開示している媒体をご選択ください。（複数選択可）**

▽1

統合報告書

CSR報告書（環境報告書含む）

アニュアルレポート

その他

△1

▼1\_1

|  |
| --- |
|  |

▲1

1\_2

**1-2. ESGの取組みに関する取材への対応**

**ESGの取組みに関して、弊社からの取材を受けていただくことは可能でしょうか。ご選択ください。**

▽2

ESGの取組みに関する取材を受けることは可能である

ESGの取組みに関する取材については、検討することは可能である

ESGの取組みに関する取材は原則として受け付けていない

その他

△2

▼1\_3

|  |
| --- |
|  |

▲1\_3

**第２章．業績・競争力に貢献するESG取組み**

|  |
| --- |
| 第2章では、ESGのお取組みを業績や競争力向上に繋げている（あるいは繋げようとされている）背景をお伺いするために、経営トップへの登用、組織形態、意思決定の仕組み、人材マネジメント、社会的課題に資する製品・サービス開発・提供、生物多様性の保全に貢献する事業展開、不祥事の早期発見・予防に向けた取組みについてお伺いします。 |

**2-1. 経営トップへの登用**

**経営トップへの登用について、現在（現経営トップ）と過去（前経営トップ）の経緯、登用される経営トップの人材が大きく変化している場合は、その理由についてご記入ください。（複数回答可）**

**（現経営トップ）**

▽1

創業者である

創業者の親族等が社長／経営陣に登用される

グループ親会社の人材が社長／経営陣に登用される

グループ子会社の人材が社長／経営陣に登用される

中途採用者が社内の育成を経て社長／経営陣に登用される

国内（＊）他社の経営経験を持つ人材が社長／経営陣に登用される

海外（＊）他社の経営経験を持つ人材が社長／経営陣に登用される

新卒から入社した社員が社長／経営陣に登用される

その他

**（前経営トップ）**

創業者である

創業者の親族等が社長／経営陣に登用される

グループ親会社の人材が社長／経営陣に登用される

グループ子会社の人材が社長／経営陣に登用される

中途採用者が社内の育成を経て社長／経営陣に登用される

国内（＊）他社の経営経験を持つ人材が社長／経営陣に登用される

海外（＊）他社の経営経験を持つ人材が社長／経営陣に登用される

新卒から入社した社員が社長／経営陣に登用される

創業時以降、経営者は変わっていない

その他

現経営トップの登用について、大きな変化がある場合はその理由についてご記入ください。

（例：今後、○○の分野に注力するため、その分野での実績を有する海外（＊）他社の人材をトップに登用）▲

△3

▼3\_3\_1

|  |
| --- |
|  |

（＊）本社拠点の場所を基準としてください。

**2-2. 組織形態**

**貴社の組織形態について、最もよくあてはまるものをご選択ください。（単一選択）**

▽1

機能型組織（機能ごとに部署が分かれている組織）

プロジェクト型組織（プロジェクトのためにチームが組成される組織）

強いマトリックス型組織（機能別の部署とプロジェクト部署が併存するが、プロジェクト型に近い）

弱いマトリックス型組織（機能別の部署とプロジェクト部署が併存するが、機能型に近い）

ティール型組織（経営者や上司が社員の業務を指示・管理せず、個々に意思決定権がある組織）

不明・わからない

その他

* △3
* ▼3\_3\_1

|  |
| --- |
|  |

**2-3. 意思決定の仕組み**

**過去3年間、組織の意思決定を早めるために、新たに工夫をされた取組み（変化）があれば、ご記入ください。**

**例1）下位職位者へ承認権限を委譲する**

**例2）意思決定に至るまでの人数を減らす**

△3

▼3\_3\_1

|  |
| --- |
|  |

**2-4. 人材マネジメント**

**過去3年間、採用、育成、管理職への登用等に関して新たに行った取組み（変化）があれば、その内容をご記入ください。**

**例1）新卒一括採用を廃止し、中途採用者数を増やす**

**例2）年功序列制度をなくし、優秀な若手人材を管理職へ登用する**

△3

▼3\_3\_1

|  |
| --- |
|  |

**2-5. 社会的課題に資する製品・サービスの開発・提供**

**過去3年間、社会的課題に資する製品・サービスの開発・提供に向けて、貴社で新たに行った取組み（変化）があれば、その内容を具体的にご記入ください。**

**例1）○○の技術を持つベンチャー企業と提携**

**例2）国連の持続可能な開発目標（SDGs）と自社のビジネスを考える委員会の設置**

s▼2\_4\_1

|  |
| --- |
|  |

4 \_1

**2-6. 生物多様性の保全に貢献する事業展開**

\_4\_**下記の「生物多様性保全に資する事業展開の例」を参考に、貴社のお取組み内容を具体的にご記入ください（製品・サービスについては、いつごろから市場に投入されているものなのか、あるいは現在、研究開発段階のものなのか、などの情報についても可能な限り併記をお願いします）。社会貢献活動（例：清掃活動、寄付）として行っているものは、事業には含まれません。**

▼4\_6

|  |
| --- |
|  |

**＊生物多様性保全に資する事業展開の例として、以下のものが挙げられます。**

①生物多様性保全に配慮した養殖関連技術や植林事業　②遺伝子工学研究に関連する機器・試薬

③自然復元関連技術　④水処理技術・バラスト水処理技術　⑤生態系への影響に配慮した機器類

⑥生態系観測・研究に必要な技術　⑦環境負荷の低い農業・食品事業

⑧生物多様性の普及啓発に関わる事業（動物園、水族館運営等）

**2-7. 不祥事の早期発見・予防に向けた取組み**

**不祥事の早期発見・予防に向けて、特に注力している取組みについてご記入ください。**

**例1）全従業員向けの意識調査の実施**

**例2）業界他社で起きた不祥事事案の共有・自社の不祥事防止策の見直し**

▼4\_6

|  |
| --- |
|  |

**自由記述欄**

**以上で本質問票の設問は終了です。**

**今後の質問票作成において参考にさせて頂きますので、質問票に対するご意見、ご感想があれば以下にご記入下さい。**

▼5

|  |
| --- |
|  |